

2017  
秋号  
No.72

# ほなみ

# 穂 潤

For WASEDA University Old Boys & Girls

発行所  
早稲田大学藤沢稻門会

発行人 足立勲一郎  
穂 潤 編集委員会



天井の葡萄までとどけて校歌齊唱

からは「去年も来  
たの。美味しかつ  
たです。」また來  
たいです。」と  
の嬉しいコメント  
を頂戴。続いて焼  
きそば奉行から  
「出来上がり！」  
のコールがあり、

## 25周年寄付金のお礼と中間報告

藤沢稻門会では創立25周年のご  
寄付をお願いしております。

次の通り多くのご寄付をいただ  
いております。厚くお礼を申し上  
げます。

平成29年度中のご寄付を引き続  
きよろしくお願ひ申し上げます。

●9月末日での状況は

金額 68万円 <70名の方から

ご寄付を賜りました。>

●ご寄付専用振り込み口座

普通預金 No.2023526  
早稲田大学藤沢稻門会(寄付金)  
神奈川信用金庫 片瀬支店

会長 足立勲一郎

## たわわな葡萄の下で開催!

### バーベキューと里山で遊ぶ会

9月10日(日) 残暑なお  
厳しい中、慶應湘南藤沢キ  
ヤンパス近くの弁慶果樹園  
に大人44名、子供7名が参  
加し、バーベキュー大会が  
開催されました。足立会長  
の挨拶に続き、山田榮先輩  
の乾杯の発声で乾いた喉を  
潤しひと息。今年も又、肉  
や野菜等の食材の調達は  
(社福)光友会ライブ湘南  
にお世話になりました。

杉下幹事、中野ライブ湘  
南所長の火起こしに始まり、食材  
をプレートに乗せるまでの手際の  
良さに一同感心。ひたすら焼き上  
がりを待ちます。場内には何やら  
香ばしいにおいが漂い始め、皆さ  
んよいよお食事開始。子供達も  
口いっぱいに頬張って満足気です。

ふと傍らにいつも見かける愛ら  
しい笑顔が…そこで「いつも来  
てくれて有難う。バーベキューは  
楽しい?」とイン  
タビュー。「地引  
網にも出たんだ。  
パン食い競争でパ  
ンを取ったよ。今  
日のお肉もおいし  
いよ。」と東希君  
6才、佑希君3才  
の兄弟が元気に答  
えてくれました。

音さん2才の姉妹  
からは「去年も來  
たの。美味しかつ  
たです。」また來  
たいです。」と  
の嬉しいコメント  
を頂戴。続いて焼  
きそば奉行から  
「出来上がり！」  
のコールがあり、

どこからともなく心地よ  
い風も吹き、ふと気づくと、  
高い天井にたわわに実つた  
た。

つきたてのお餅は別腹。人  
気のうちに終了となりまし

た。

どこからともなく心地よ  
い風も吹き、ふと気づくと、  
高い天井にたわわに実つた  
た。

2017.10.20

## 穗 潤

## 女性委員会

紫陽花が美しく咲きほこる6月24日(土)第2回「女性校友ブチ懇親会」が開催されました。今回は、昭和40年以前卒5名と新会員4名、幹事7名を加え、16名の参加でした。会場は昨年同様おしゃれなお店「GIRINO」を貸し切り、落ち着いた雰囲気のなかで和気あいあいとした時間を過ごしました。

安保闘争の時代また圧倒的に男子学生が多い当時、勇敢にもデモに参加されたり、卒業後も税理士、日本語教師・小学校教師・インテリアコーディネーター等それぞれ資格を取得されたり、音楽活動・家庭菜園・ゴルフその他の趣味のことなど広範囲にわたる大変興味深い貴重なお話を伺いました。

新会員として初対面の方々が多い中、青春時代を同じ大学で学んだということで不思議な親近感、安心感を得て、美味しいお料理をいただきながら、すっかりリラックスし、楽しい会話がはずみました。向上心旺盛な皆様に触発され、前向きな気持ちになれましたし、有益な情報はこれから活用していきたいと思います。

最後に、昭和47年卒の山下さんより「しののめぶし」「相撲甚句」の唄と三味線の素晴らしい演奏をしていただきました。皆で何について

## 女性校友ブチ懇親会に参加して



樹海の緑に包まれて！

## ハイキング

7月2日の早朝、高速バスで藤沢駅前から河口湖へ向かいました。西湖周遊バスに乗り換えて、富士山大噴火の溶岩流が流れ下つてできた洞窟、氷穴・風穴を見

## 青木が原樹海と河口湖ハーブフェス

学。天井から染み出した水滴が凍ってできた氷柱は、暗がりにきらめいていました。

そこから少し歩いて青木が原樹海に入り、軽快にハイキング。私が描いていたイメージに反し、柔らかく苔むした溶岩流の上に広がる原生林は、明るく美しい。

野鳥の森公園で昼食。再び山道を行き、ハイキングの終点、根岸浜に着くと、西湖の背後に濃緑の山並みに映える青富士が望め、思わず感嘆の声があがりました。

石川敦子（昭和52教育・英語英文）

てかをあてる「都々逸(どどいつ)」も嬉しくなつかしい体験でした。ネット時代になりましたが、日々の生活の中の経験や思いを実際に楽しくお喋りできる交流の場がありますと、健康維持に役立ち、本当に幸せなことです。

今後もまた今回のような懇親会が、毎年開催されますよう願っています。



女性校友の皆さん勢揃い！

## 新入会員懇談会

5月27日、さかな屋において新会員交流会が開催されました。平成29年5月までに当会に加入された新会員全員全34名中から13名にご参加いただきました。

昭和43年から平成6年までのバラエティ豊かな新入会員が、各々母校の思い出話に花を咲かせていました。私と

出身高校（高等学院）が同じ会員の方もあり、大学時代に限らない思い出話もできました。それぞれの会員の自己紹介では、



青富士を背に！

品アントをめぐり小休憩。夕方、観光客で混みあう河口湖駅を後に、山の余韻にひたりながら帰途につきました。

広田幸子（昭和53文学・英文）



新入会員を迎えてやかに！

## 13名の新入会員集まる！

5月27日、さかな屋において新会員交流会が開催されました。平成29年5月までに当会に加入された新会員全員全34名中から13名にご参加いただきました。

昭和43年から平成6年までのバラエティ豊かな新入会員が、各々母校の思い出話に花を咲かせていました。私と出身高校（高等学院）が同じ会員の方もあり、大学時代に限らない思い出話もできました。それぞれの会員の自己紹介では、品アントをめぐり小休憩。夕方、観光客で混みあう河口湖駅を後に、山の余韻にひたりながら帰途につきました。

広田幸子（昭和53文学・英文）

持ちの方が多数おり（中にはオペラ団体に所属している方も！）、皆様積極的に同好会に加入したいと希望されていました。新会員交流会を足掛かりに積極的に稲門会の活動に参加してほしいという会長の挨拶どおり、当会の同好会がますます盛り上がることを確信できました。

貸し切りにはできなかつたため、校歌が歌えなかつたことだけが残念でしたが、先輩後輩分け隔てなく新たな人の輪が広がっていく素敵な会になりました。

永田 昇（平成26・大学院法務研）

## 穂 濤

## 四季の会&amp;幹事懇親会

## 藤稻リコーダーアンサンブル

## 初のコンサートを開催

今年の夏は暑い！ 8月5日（土）夜、藤沢名店ビル屋上ビアガーデンにて四季の会の「LET'S暑気払い」に参加してきました。新会員も含め参加者は総勢36名。稲門会神奈川県支部長の鴻谷様にもお出でいただきました。なお横浜稲門会は4年後に100周年を迎えるとのことです。

このビアガーデン、飲み物はセイ「ビアガーデンは久しぶり」という方も多く、素敵な夏の思い出を語りあつた2時間でした。

開放感ある屋上では次第に夜風もここちよく、生バンドのジャズ演奏をバックに、先輩後輩などまたたく意識せず、大いに飲み、いい「日和でした。

日も酷暑。まさに「暑気払い」が行われました。この

年も暑い！ 8月5日（土）夜、藤沢名店ビル屋上ビアガーデンにて、四季の会の「LET'S暑気払い」から始まり、全9曲を演奏。随所での杉澤さんのト

ークにも熱心に耳を傾けていただ

いた。コンサート第1部はM・ルターの「歓迎の曲」から始まり、全9曲を演奏。随所での杉澤さんのト

ークにも熱心に耳を傾けていただ

いた。コンサート第1部はM・ルターの「歓迎の曲」から始まり、全9曲を演奏。随所での杉澤さんのト

ークにも熱心に耳を傾けていただ

いた。安田佳裕（昭和57文・社会）づくりができるのではないでしょ  
うか。

もこだわり、万全の態勢で当日を迎えた。来場者数が懸念されたが、稲門会会員はじめ55名の方にご来場いただき、55名の方にご来場

いた。コンサート第1部はM・ルターの「歓迎の曲」から始まり、全9曲を演奏。随所での杉澤さんのト

ークにも熱心に耳を傾けていただ

いた。

最後に全員で「今は別れの時」と辻堂ゆかりの「浜辺の歌」を合

I L R I S O の コンサ

ト が、5月27日（土）、日

本基督教団・辻堂教会で開催された。創設4年目で初のコンサート、メンバー一同充分練習を重ね、衣装に

リコーダーアンサンブル

オルガン・太鼓・ギターのサポートも演奏に華を添えた。

第2部はお国めぐりの5曲、前半とは異なりリラックスした雰囲気の中で、皆さんに楽しんでいた

だいた。

最後に全員で「今は別れの時」と辻堂ゆかりの「浜辺の歌」を合

唱し、楽しくも、緊張感に満ちた

1時間半のコンサートは無事終了。

「次回の演奏会を楽しみにしてい

ます。」との多くの励ましのアン

ケートを力に、これからも活動し

て参ります。

播 俊一（昭和45政経）

## 藤稻リコーダーアンサンブル

IL RISOのコンサー

ト が、5月27日（土）、日

本基督教団・辻堂教会で開

催された。創設4年目で初

のコンサート、メンバー一

同充分練習を重ね、衣装に

もこだわり、万全の態勢で

当日を迎えた。来場者数が

懸念されたが、稲門会会員

はじめ55名の方にご来場

いた。コンサート第1部はM・ルター

の「歓迎の曲」から始まり、全9

曲を演奏。随所での杉澤さんのト

ークにも熱心に耳を傾けていただ

いた。

最後に全員で「今は別れの時」と辻堂ゆかりの「浜辺の歌」を合

唱し、楽しくも、緊張感に満ちた

1時間半のコンサートは無事終了。

「次回の演奏会を楽しみにしてい

ます。」との多くの励ましのアン

ケートを力に、これからも活動し

て参ります。



日本基督教団・辻堂教会にて



藤沢名店ビル屋上ビアガーデンにて



講師の川井陽一湘南学園学園長

今年は早稲田大学が幹事校で藤沢稲門会から足立勲一郎会長をはじめ副会長・幹事長及び幹事を含め例年より多い19名が出席した。

第1部は学法人湘南学園の川井陽一学園長から「二つの湘南から考える—明日の教育への展望—」の演題で記念講演があった。同氏は早稲田大学を卒業後、湘南高校校長、北里大学教授、神奈川県立

藤沢市長の来賓挨拶の後、宴がスタートした。目玉は「ながら」として活躍中のパリなかもやま氏がギターを抱え各テーブルをまわり、リクエストに応じ歌を披露。なかにはギター自分で演奏し美声を披露する方も出て大いに盛り上がった。又各校からは箱根駅伝話を題とした挨拶がなされた。

最後に次回幹事校の日本大学校友会湘南桜門会の佐々木透会長の挨拶で締めくくり散会となつた。

## 藤沢稲門会の主管で16校が集合

第21回SUC（湘南ユニーク）の親睦交流会が10月7日（土）に

藤沢市民会館で構成され、今回も16校か

ら約120名の出席があつた。各大学の地区校友会が

合同で交流会を持つことは、全国的に珍しいとのこと。

今年は早稲田大学が幹事校で藤

沢稲門会から足立勲一郎会長をはじめ副会長・幹事長及び幹事を含め例年より多い19名が出席した。

第1部は学法人湘南学園の川井

陽一学園長から「二つの湘南から

考える—明日の教育への展望—」の演題で記念講演があった。同氏は早稲田大学を卒業後、湘南高校

校長、北里大学教授、神奈川県立

藤沢市長の来賓挨拶の後、宴がス

タートした。目玉は「ながら」と

して活躍中のパリなかもやま氏がギ

ターを抱え各テーブルをまわり、リクエストに応じ歌を披露。なかにはギター自分で演奏し美声を

披露する方も出て大いに盛り上が

った。又各校からは箱根駅伝話を題とした挨拶がなされた。

最後に次回幹事校の日本大学校友会湘南桜門会の佐々木透会長の挨拶で締めくくり散会となつた。



会場を盛り上げた平成流し組合代表

## 文芸サロン

『かるた藤沢百趣』より

〈展望〉

片瀬の西は 相模の浜辺  
東は山越え 鎌倉へ

富士も夕日も ひときわ映える  
弁天橋から 江の島へ

片瀬山から 丹沢 富士や  
箱根伊豆まで 一望に

冬の相模は 波穏やかに  
大島の先 利島見え

恋人の丘 龍恋の鐘  
江の島山頂 若い夢

〈行事〉

遊行寺坂から 浜見の先へ  
駅伝がんばれ 声の波

相撲の巡業 藤沢場所は  
懶はためく 秋葉台

ヨットバー 五輪に沸いて  
マスト彩る 万国旗

昼夜は残暑 遊行寺境内  
暮れて幽玄 薪能

秋の夜空に 江の島花火  
大輪の菊 仰ぎ見る

〈祭事〉

皇大神宮 九台の山車と  
湯華神樂の 例大祭

踊り念仏 遊行の盆の  
団扇太鼓や 万灯の列 夏の宵

夜店ひしめく 法難会  
宇都母知神社に 氏子が集い

深まる秋の 収穫祭  
南の寺の 隣りはお諏訪

人形山車が トントコトン  
穂 潤

## お知らせ

### 新 入 会 員

(平成29年9月30日迄)  
\*印はパートナー会員

### 定時総会・新春のつどい

日時 / 2月10日 (土)  
会場 / 藤沢市民会館

※迂回会場のみ移転予定

### 行 事 予 定

#### 忘年会

日時 / 12月10日 (日)  
会場 / 藤沢市民会館

※詳細は同封のご案内参照

#### 箱根駅伝応援

日程 / 1月2・3日  
会場 / 東西2会場

\*申込先 長瀬輝行 / 常任相談役  
▼ 第3談話室

11月4日 講師・長瀬輝行  
「200回を迎えて」  
\*会場 鵠沼市民センター公民館

## 【穂 潤俱楽部予定】

編集委員長  
編集委員

舛岡 健  
佐藤順子・高野尚志  
葛西暢人・笛井修一  
元 憲幸・山口金雄  
山下扶佐子